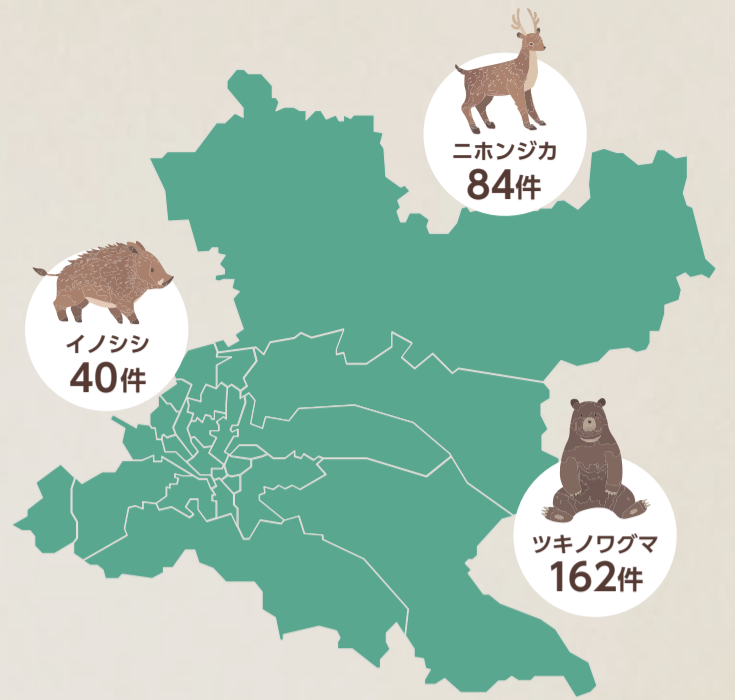




# 鳥獣被害対策 私たちにできること

豊かな自然に囲まれたまち、盛岡。ここに暮らす私たちにとって、自然は非常に身近なものであり、盛岡の魅力の一つでもあります。しかし、近年、ニホンジカやツキノワグマなどの野生鳥獣が、生産者が大事に育てた農作物を食べたり、私たちが住んでいる場所に出没し、人身被害が発生したりしています。こうした野生鳥獣による被害を防ぐため、皆でできることを考えましょう。 ☎農政課 ☎613-8457



▲令和3年度目撃等件数\*  
\*目撃等件数：目撃、痕跡、農作物被害の通報件数

## 野生鳥獣による被害はどうすれば防げるの？

### 「寄せ付けない」「守る」「捕まえる」の3つの対策が必要！

#### 01 | 寄せ付けない

普段の生活の中で、野生鳥獣を人里に近づけない環境をつくる工夫が必要です。



①生ごみなどの放置（悪い例）

..... 工夫の例 .....

- ①野生鳥獣の餌となる生ごみや、収穫しない野菜・果実を放置しない
- ②野生鳥獣の隠れ家になる下草ややぶを刈り払い、見通しを良くする



②下草ややぶの刈り払い

#### 02 | 守る

田や畑の周りに電気柵などを設置することで、野生鳥獣の侵入を防ぎます。



農作物を守る電気柵



#### 03 | 捕まえる

農作物被害や人身被害を与える危険性がある野生鳥獣がいる場合、鳥獣被害対策実施隊が捕獲します。

##### 鳥獣被害対策実施隊とは？

盛岡猟友会からの推薦を受け、市長が任命。市では約70人の隊員が野生鳥獣の捕獲や被害調査、注意喚起などを行っています。



#### 地域全体で取り組みを

クマなどの出没が増えている原因の一つは、人が畑や山の手入れをできなくなり、山と人里の境がなくなっていること。動物と人間の「すみ分け」のためには「寄せ付けない」「守る」「捕まえる」の3つの対策は有効ですが、地域全体が共通認識を持って取り組むことが大切です。ここ数年、野生鳥獣が街中に出没することが増えているため、市内中心部に住む人にも、被害が増えていることや遭遇する可能性があるといった「現状」を知ってほしいです。

岩手大農学部 山内 貴義 准教授



YouTube  
岩手県公式  
農作物被害対策

① みんなで野生鳥獣被害対策  
～盛岡市地域おこし協力隊の取組事例編～  
盛岡地域における農作物被害状況、盛岡市地域おこし協力隊の活動(捕獲活動、地域住民の勉強会開催など)を紹介(15分)



② 野生獣から圃場や集落をしっかりと守る  
～大面積・積雪にも対応した省力的な恒久電気柵の設置方法～  
恒久電気柵の特徴、材料、施工の手順・留意点、管理の留意点を解説(19分)



#### もし、クマやイノシシに遭遇したら…

山や林の近くではできるだけクマなどに遭遇しないよう、事前に出没情報を確認したり、ラジオや熊鈴など音の出るものを携帯することが大切です。もし、クマなどに遭遇したら、決して走って逃げず、背中を見せずゆっくりとその場を離れましょう。



市ホームページ  
「クマにご注意ください!」

#### 鳥獣被害対策を支援します

新たな電気柵の設置や狩猟免許の取得をする場合に、補助金を交付しています。詳しくは、農政課へお問い合わせください。

ID 電気柵の設置：1019526  
狩猟免許の取得：1019525

今月号の「もりけんに挑戦」はお休みしました

広報もりおかへのご意見をお待ちしています  
アンケート専用フォームから、特集や各記事への意見をお寄せください。あなたの意見が広報もりおかを育てます。



編集後記  
子どもたちだけでなく、さまざまな年代の人が笑顔で集う場がたくさんあることも盛岡の魅力の一つですね。取材を通して皆さんの笑顔にパワーをもらいました。(司東)

地球環境に配慮したインキを使用しています。